

◆ 今週のコメント

- 百日咳の報告は1例(20歳以上)で、第32週以降報告が続いています。本年の累積報告数は26例で、年齢階級別にみると、生後6ヶ月～11ヶ月の8例が最も多く、1歳未満で46%(12例)を占めています。また、20歳以上は3例です。過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期までの累積報告数(9～28例)と比較すると、本年は、平成12年の28例に次いで多くなっています。全国でも、過去5年間の同時期と比較して、本年は最も多くなっています。
- ウイルス性肝炎(B型)の第33週追加分の報告が1例あります。本年のウイルス性肝炎の累積報告数は4例で、病型はB型3例、C型1例で、性別は全て男性、推定感染地域は国内3例、海外(タイ)1例で、推定感染経路は性行為感染3例(全て異性間)、不明1例となっています。

◆ 今週のトピックス:<アメーバ赤痢>

- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例あり、本年の累積報告数は15例となっています。過去7年間の同時期までの累積報告数と比較すると、本年は、平成16年と同数で最も多くなっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- 今週の麻しん全数発生報告は4例です。5月25日から始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む。)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- 二類:結核 15例(肺結核 7例, その他 8例)(第30・32・34週追加分を含む)
- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例
- 五類:ウイルス性肝炎(B型) 1例(第33週追加分)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.63	108
	② 突発性発しん	0.59	24
	③ ヘルパンギーナ	0.46	19
	④ 手足口病	0.37	15
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
コクサッキーウイルスA3型 (1)	かぜ症候群(第32週)	エコーウイルス30型(1)	感染性胃腸炎(第34週)
コクサッキーウイルスA10型 (1)	かぜ症候群(第32週)		

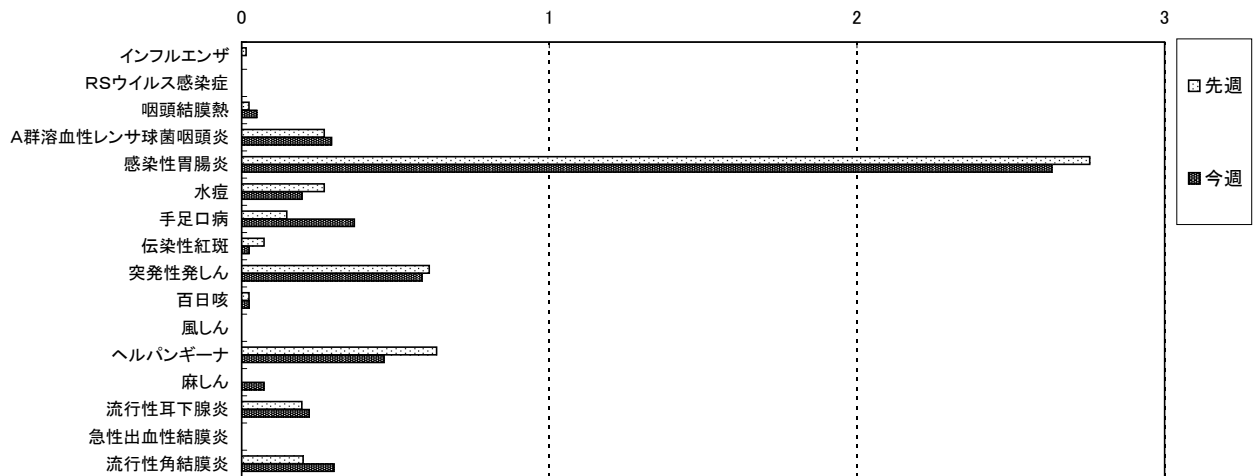
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<アメーバ赤痢> / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

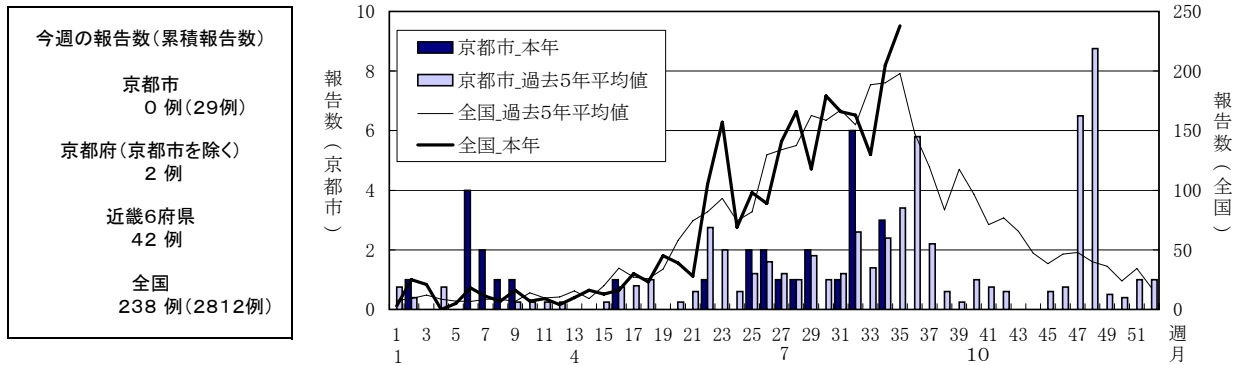
(注) 京都市のデータは、平成19年9月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第35週)と先週(第34週)の定点当たり報告数の比較

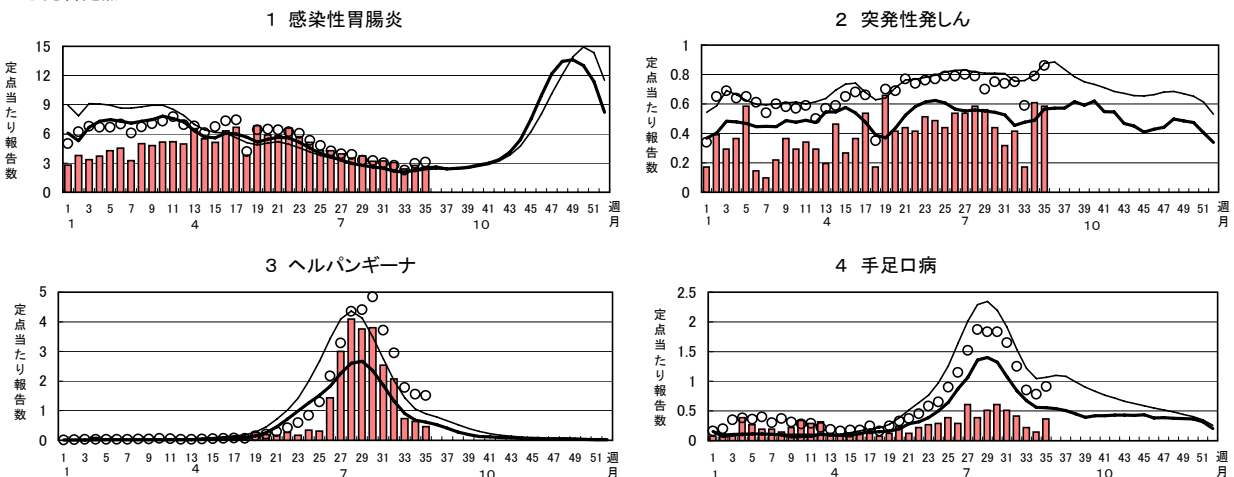


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

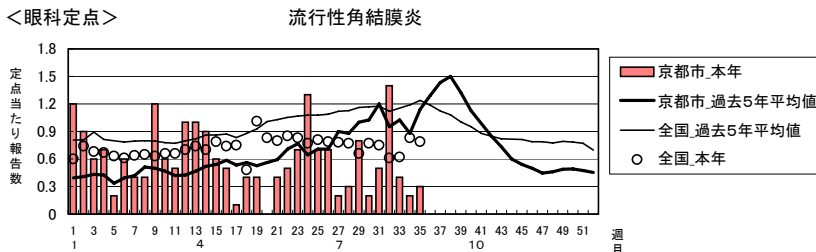


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第35週)のトピックス: <アメーバ赤痢>

今週の報告は1例で、本年の累積報告数は15例となっています。診断年別に同時期までの累積報告数を比較すると、本年は、平成16年と同数で最も多くなっています。診断年推移をみると、特に平成16年以降の報告(17~18例)が多く、全国でも、平成16年以降、報告数が600を超えています。

病型別の分類が平成18年4月以降に開始されて以降、本市の腸管外アメーバ症の累積報告数は5例となっています。推定感染地域は、国内での感染例が多くを占めています。

推定感染経路は、「本年」では、不明を除き、経口感染が多く、性行為による感染例は2例です。「過去」(平成11年第13週~平成18年)の本市及び全国では、不明を除き、男では、性行為が、女では、経口が多くなっています。

性別では、「本年」、「過去」ともに男性が多く、年齢群別では、過去は、30歳代、50歳代、40歳代の順に多く、「本年」は40歳代で最も多くなっています。

診断年別推移

診断年	京都市		全 国
	第1~35週	年報告数	
平成11年 (第13週以降)	1 (0)	2 (0)	276
平成12年	5 (0)	7 (1)	378
平成13年	5 (1)	6 (2)	429
平成14年	8 (0)	12 (0)	465
平成15年	3 (1)	8 (2)	520
平成16年	15 (1)	18 (2)	610
平成17年	11 (2)	17 (4)	698
平成18年	13 (4)	17 (4)	602
平成19年	15 (4)	—	—
総計	76 (13)	87 (15)	3,978

() 内は女

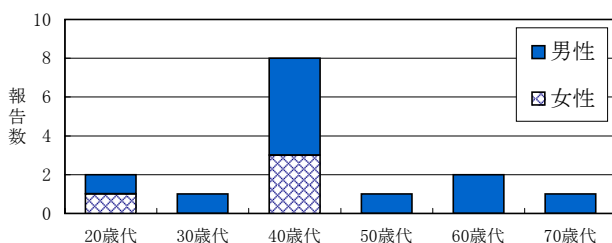
病型別報告数

	京都市 (n=32) 平成18年4月~ 平成19年第35週まで		全国 (n=602) 平成18年4月~ 12月まで	
	男	女	男	女
腸管 アメーバ症	19	8	424	62
腸管外 アメーバ症	5	0	107	9

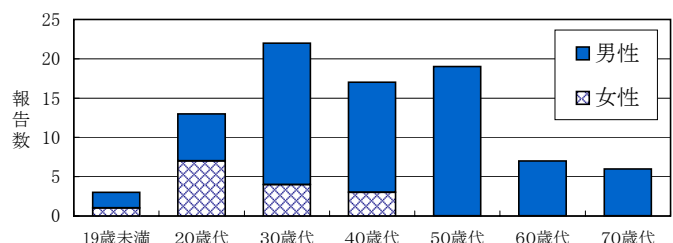
推定感染地域及び推定感染経路別累積報告数

項目名		「本年」 (平成19年第1週~35週)		「過去」(平成11年第13週~平成18年)				
		京都市 (n=15)		京都市 (n=87)		全国 (n=4,118)		
		男	女	男	女	男	女	
感染地域	国内	9	3	50	12	2,465	318	
	国外	2	1	14	2	571	87	
	不明	0	0	8	1	632	45	
感染経路	性行為	同性	0	1	8	0	624	2
		異性	0	0	12	5	321	108
		不明	1	0	1	0	26	4
	経口	4	1	16	7	852	152	
	不明	6	2	35	3	1,845	184	

京都市の性別年齢群別累積報告数 (n=15)
「本年」(平成19年第1週~第35週まで)



京都市の性別年齢群別累積報告数 (n=87)
「過去」(平成11年第13週~平成18年)



京都市麻しん全数発生報告

京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から9月9日までの報告を初診週別に集計しています。

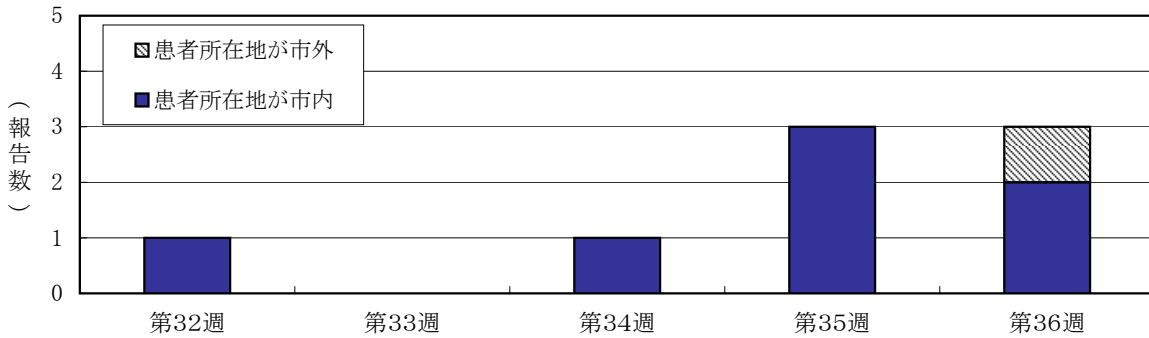
なお、今週の報告分、第35週の1例(1歳)、第36週の1例(0歳)は定点医療機関からの報告例です。

1 推移

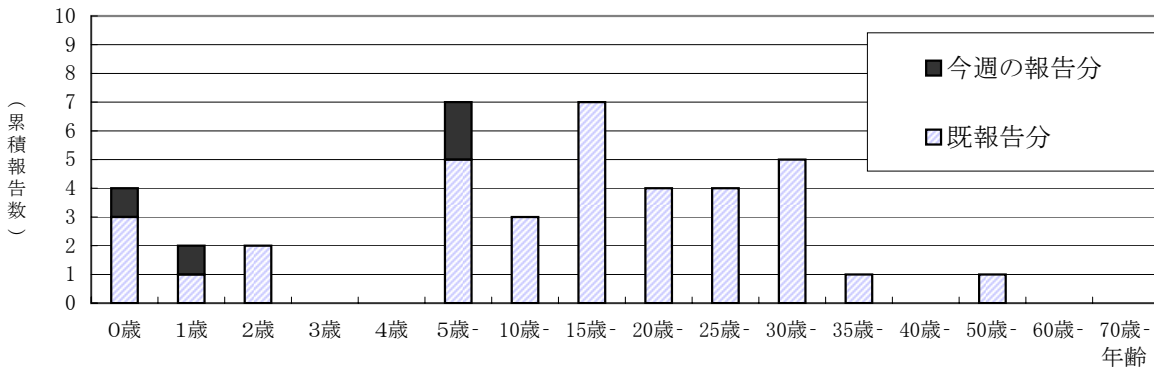
	初診週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分		-	-	-	1	3	4
既報告分		1	-	1	2	-	36
合計		1	-	1	3	3	40

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第35週

疾病,保健所別報告数

平成19年8月27日～平成19年9月2日

データ入手日:平成19年9月10日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	8	1	-	-	2	1	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1	7	-	1	-	5	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	1	-	19	-	-	-	2	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1	10	-	1	1	1	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2	13	-	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1	1	9	1	1	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	1	12	4	11	-	6	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	3	23	2	1	-	5	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	2	12	108	8	15	1	24	1	-	19	2	9	-	3	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	2.00	0.25	-	-	0.50	0.25	-	0.50	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.33	2.33	-	0.33	-	1.67	-	-	-	-	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	0.50	-	9.50	-	-	-	1.00	-	-	1.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.25	2.50	-	0.25	0.25	0.25	-	-	0.75	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.67	4.33	-	-	-	0.33	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.20	0.20	1.80	0.20	0.20	-	0.20	-	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.14	1.71	0.57	1.57	-	0.86	-	-	0.14	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.75	5.75	0.50	0.25	-	1.25	-	-	0.75	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.05	0.29	2.63	0.20	0.37	0.02	0.59	0.02	-	0.46	0.05	0.22	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第35週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年8月27日～平成19年9月2日

データ入手日:平成19年9月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		12	-	-	1	1	1	1	3	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		108	1	8	18	10	16	6	5	4	6	7	3	17	1	6	-	-	-	-	-	-
水痘		8	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		15	-	-	8	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		24	1	10	10	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		19	-	1	6	2	3	1	3	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		9	-	-	-	-	-	3	1	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	-	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.63	0.02	0.20	0.44	0.24	0.39	0.15	0.12	0.10	0.15	0.17	0.07	0.41	0.02	0.15	-	-	-	-	-	-
水痘		0.20	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.37	-	-	0.20	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.59	0.02	0.24	0.24	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.46	-	0.02	0.15	0.05	0.07	0.02	0.07	-	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.22	-	-	-	-	-	0.07	0.02	0.02	-	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第35週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年9月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	8	12	3	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	8	7	7	11	12
感染性胃腸炎	131	132	126	99	113	108
水痘	10	14	9	7	11	8
手足口病	25	21	17	9	6	15
伝染性紅斑	10	8	2	1	3	1
突発性発しん	18	13	17	7	25	24
百日咳	-	-	1	1	1	1
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	156	104	85	30	26	19
麻しん (※)	-	-	-	-	-	2
流行性耳下腺炎	12	12	4	10	8	9
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	5	14	4	2	3
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	395	325	294	178	208	204

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.34	0.20	0.29	0.07	0.02	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	0.20	0.17	0.17	0.27	0.29
感染性胃腸炎	3.20	3.22	3.07	2.41	2.76	2.63
水痘	0.24	0.34	0.22	0.17	0.27	0.20
手足口病	0.61	0.51	0.41	0.22	0.15	0.37
伝染性紅斑	0.24	0.20	0.05	0.02	0.07	0.02
突発性発しん	0.44	0.32	0.41	0.17	0.61	0.59
百日咳	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3.80	2.54	2.07	0.73	0.63	0.46
麻しん (※)	-	-	-	-	-	0.05
流行性耳下腺炎	0.29	0.29	0.10	0.24	0.20	0.22
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.50	1.40	0.40	0.20	0.30
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	9.79	8.30	8.23	4.64	5.21	5.20

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。